

軽井沢・プリンスショッピングプラザで オンサイト PPA による太陽光発電を導入、2023年3月より稼働 ～年間約 870t-CO₂ 相当の温室効果ガスの排出量削減に貢献～

株式会社西武リアルティソリューションズ（本社：東京都豊島区、代表取締役社長：齊藤朝秀）が保有・運営する「軽井沢・プリンスショッピングプラザ」（長野県北佐久郡軽井沢町）では、オンサイト PPA モデルによる太陽光発電システムを導入し、2023年3月より稼働を開始いたします。

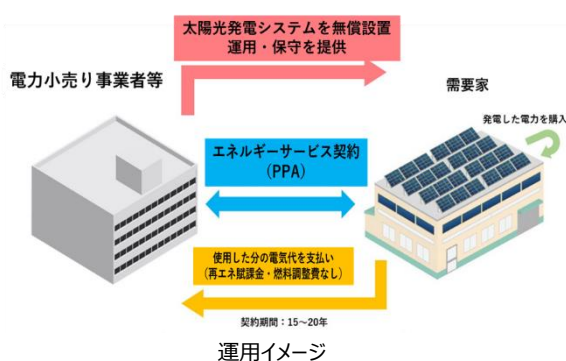
軽井沢・プリンスショッピングプラザ施設内の「ツリーモール」、「ガーデンモール」、「フードコート」の3エリアの屋根上に、約4,000枚の太陽光パネルを設置し、太陽光発電システムの稼働により発電される電気（自然エネルギー）を買電して、施設の店舗区画や共用部に供給して自家消費いたします。設置パネル量は1,770kWを出力する規模で、初年度の年間想定発電電力量は約205万kWh、施設全体の使用電力量の約20%をカバーすることになります。この太陽光発電設備の導入・稼働に伴い、約870t-CO₂/年相当の温室効果ガスの排出量削減に貢献する見込みです。

今回導入する太陽光発電システムによる電力供給サービスは、東京電力ベンチャーズ株式会社、シャープエネルギーソリューション株式会社が共同で提供するオンサイト PPA モデルによるものです。計画検討の段階において、発電設備の自社保有などの運用形態や西武グループの直近の経営および財務状況、事業再編におけるアセットライトな事業運営への取り組みなど、総合的に検討、勘案して当モデルの採用を決定いたしました。

日本を代表する高原リゾートである軽井沢は、古くからの保養地・別荘地としての発展の背景に、町の環境保全への高い意識が脈々と引き継がれています。現代においても軽井沢町の環境保護条例等に沿って、環境保全を念頭においた事業活動を営むことが求められており、このたびの太陽光発電設備の稼働による自然エネルギーの導入と温室効果ガスの削減をもって、環境保全に一定の貢献をしております。

西武グループでは経営理念であるグループビジョンに基づき、持続可能な社会の実現に向けた取り組み「サステナビリティアクション」（4領域、12アジェンダで構成）を積極的に推進しております。中でも、気候変動への対応を中心に環境関連が重要な社会課題となっていることを踏まえ、環境分野の取り組みを「グリーン経営」と位置付け、積極的な対応を行います。西武グループは環境負荷削減目標としてCO₂排出量を2030年度までに2018年度比46%削減、2050年度までにネットゼロを目標としています。

太陽光発電等の自然エネルギーの活用のほかにも、省エネルギー設備への更新や廃棄物削減など、グループの保有資産や各事業に適した、様々な取り組みを進めてまいります。



軽井沢・プリンスショッピングプラザ 施設俯瞰

太陽光発電設備の概要

- (1) 施設名 軽井沢・プリンスショッピングプラザ
- (2) 計画地 長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢
- (3) 設置場所 ツリーモール、ガーデンモール、フードコート屋根上
- (4) パネル枚数 上記3エリアに約4,000枚を設置
- (5) 設置パネル量 1,770kW
- (6) 想定発電電力量 約205万kWh（初年度）
- (7) プランニング・運用 東京電力ベンチャーズ株式会社（オンサイトPPAモデル）
- (8) 設計・施工 シャープエネルギーソリューション株式会社
- (9) スケジュール 2022年9月 工事着工
2023年2月 工事竣工（予定）
3月 稼働開始（予定）

（オンサイトPPAモデルについて）

FIT法（電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法）における固定価格買取制度に依存せず、発電事業者が施設保有者に電気を供給するサービスです。施設保有者が所有する工場や倉庫、店舗などの屋根や遊休地に発電事業者が太陽光発電システムの設置を行い、発電された電力を施設保有者が一定価格で買い取ります。施設保有者は初期投資や設備の維持管理の負担なく、一定期間、CO₂フリーで発電した電気を固定価格で利用することが可能です。

■ 軽井沢・プリンスショッピングプラザ（施設概要）

所在地：長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢 最寄駅：JR東日本 北陸新幹線『軽井沢駅』

<https://www.karuizawa-ppsp.jp/>



西武グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

西武グループでは、グループ理念である「グループビジョン」に基づき行う幅広い事業・サービスの提供を通じて、持続的な社会形成への課題対応を図ることで、当社としても持続的かつ力強い成長を目指しています。

これら環境、社会、ガバナンスなど一般的に「ESG活動」と呼ばれる活動を西武グループでは「サステナビリティアクション（ESG）」と呼び、グループ全社において持続的な成長を遂げるため取り組んでいます。また、西武グループでは社会課題・当社の事業環境等を踏まえて、当社が特に取り組むべき4領域（安全、環境、社会、会社文化）、12アジェンダ（重要テーマ）を設定し、アジェンダに沿った取り組みを積極的に進めています。

< 当社サステナビリティアクションの取り組み >

<https://www.seiburealsol.jp/corporate/sustainability/>

領域	アジェンダ	貢献するSDGs
安全	安全安心	3 気候変動に具体的な対策を、9 産業と技術革新の基盤をつくろう、11 住み続けられるまちづくりを、16 平和と公正
環境	温室効果ガス削減 廃棄物削減 水資源の確保 森林や生物保護	6 安全な水とトイレを世界中に、7 再生可能エネルギー、12 持続可能な消費と生産、13 気候変動に具体的な対策を、14 海洋資源を保全し持続可能な形で利用する、15 陸域生態系保護と持続可能な開発
社会	沿線・周辺自治体活性化 ユニバーサルデザイン対応 少子高齢化	3 気候変動に具体的な対策を、4 質の高い雇用を創出する、11 住み続けられるまちづくりを、17 パートナーシップを世界に
会社文化	働き方改革 多様な人材雇用 従業員教育・管理 コンプライアンス	3 気候変動に具体的な対策を、5 性別平等、8 質の高い雇用を創出する、10 公平な社会と豊かさを促進する、16 平和と公正

● 今回の取り組みを通じて特に貢献可能なSDGsの目標



■ **株式会社西武リアルティソリューションズ**（会社概要）

所在地：東京都豊島区南池袋一丁目16番15号

代表者：代表取締役社長 齊藤 朝秀

設立：1956年6月4日 資本金：86億円

URL：<https://www.seiburealsol.jp/>



西武リアルティソリューションズ



東京ガーデンテラス紀尾井町

<事業内容>

不動産の所有、売買、管理、賃貸借、仲介業務等、ホテルの経営
全国にまたがるグループ保有資産の有効活用や西武鉄道沿線の価値向上に
資する取り組みを通して、お客さまの課題解決に貢献してまいります。

<西武グループ内組織再編について>

西武グループでは、2021年5月13日に公表した「西武グループ中期経営計画（2021～2023年度）」に基づいた経営改革に取り組んでおり、その一環として、グループ内組織再編*を進めております。この再編により、2022年4月1日付で株式会社プリンスホテル（以下「PH」）を存続会社、株式会社西武プロパティーズを消滅会社とする吸収合併を行い、PHは株式会社西武リアルティソリューションズへ商号変更いたしました。

西武リアルティソリューションズは、グループの不動産事業の中心として、競争力の高い総合不動産会社へと飛躍し、グループ保有資産の価値を極大化することを目指してまいります。

*2021年12月9日付 株式会社西武ホールディングス リリース「[グループ組織再編（子会社の設立、子会社間の会社分割および合併）ならびに子会社の商号変更に関するお知らせ](#)」